

令和6年度学校目標【全日制】

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	<p>①工業高校の特色を生かした多様な学習ニーズに対応できる指導の充実や組織的な授業改善に取り組む。魅力ある新校を創造する。</p> <p>②専門教育充実のため、資格取得の推進、企業や大学、専門学校等との連携など、工業高校としての魅力をより一層充実する。</p> <p>③学校行事や生徒会活動を充実させ、生徒の主体的活動を支援する。</p>	<p>① ICT を利活用した組織的な授業改善を推進する。また成績評価等処理におけるチェック体制を工夫する。新校の教育課程を策定する。</p> <p>②ものづくりコンテストの挑戦を支援する。また、資格取得に向けた関心・意欲を向上させる。校外見学実習の実施や企業・上級学校等との連携事業を推進する。</p> <p>③生徒会の各種行事への主体的な活動を促進し、様々な地域貢献活動を通して、生徒の自己肯定感を高める。また業務低減に向けた取り組みをICTなどを有効活用し、積極的に推し進める。</p>	<p>①ICT 利活用がテーマの研究授業を推進し具体的な方策を共有するなど組織的な授業改善に取り組む。1年生と2,3年生とでは評価方等異なるため間違えないように工夫する。</p> <p>②ものづくりコンテストの課題に財政的な支援を行う。学習内容や資格取得が、活かされている場面を紹介し、授業や資格取得への関心・意欲を促す。朝や放課後に資格取得に向けた指導・補習を行う。</p> <p>③文化祭・体育祭・球技大会など、生徒会の各種行事や地域連携行事等活用し、生徒同士の人間力を高める。</p>	<p>① ICT を利活用した科目が増えたか。生徒アンケートを実施し学習効果の肯定的な意見が8割を超えたか。 また入学年度の違いによる成績処理の違いが起きず職員がわかりやすい案内が出来たか。</p> <p>②ものづくりコンテストに参加できたか。購入した道具や材料が生かされたか。資格に関する情報の発信や相談などをどれだけ対応できたか。受検者数が増加したか。また、合格率の維持・増加はできたか。</p> <p>③生徒会活動や部活動を通じて、生徒の自己肯定感や他者への理解を高めることができたか。</p>
2	(幼児・児童・)生徒指導・支援	<p>①個に応じた支援のための組織的な教育相談体制を充実するとともに、基本的な生活習慣の確立に向けたきめ細かい生活指導に取り組む。</p> <p>②部活動の活性化や各種コンテスト、競技会への参加を通して、生徒の達成感、連帯感、責任感を涵養する。</p>	<p>①個に応じた支援を行うため SC、SSW、教育相談コーディネーターとの連携を密にし、支援体制を充実する。また、各種講演や身だしなみ指導を通じて規範意識を養う。</p> <p>②生徒が文化祭・体育祭・球技大会などの生徒会行事を積極的に取り組む体制を整え、生徒の主体的な行動を全面的にサポートする。</p>	<p>①サポートドックや教育相談会議など生徒情報の共有を密に行う。講演については各学年段階にあった内容を精査し目的にあった内容にする。</p> <p>②生徒会の各種行事について、生徒が主体的に取り組む体制を構築し、部活動や各種行事への活性化を図る。</p>	<p>①サポートドックや教育相談会議が有効に機能したか。身だしなみ指導を受けた生徒数が昨年より減少したか。講演後のアンケートを実施し肯定的な意見が8割を超えたか。</p> <p>②各種行事終了後、アンケートを実施し、生徒会行事への参加意識や活動意識が高まり、各種行事への充実が図られたか。</p>
3	進路指導・支援	<p>①生徒一人ひとりの進路実現に向けた指導、支援の充実を図る。</p> <p>②これからの時代に必要な資質や能力を育成するためのキャリア教育を推進する。</p>	<p>①生徒が広い視野を持って、進路選択し自己実現できる指導・支援を行う。</p> <p>②様々な取組により、生徒が自己理解をしつつ、進路選択に必要な資質や能力を向上できるキャリア教育を推進する。</p>	<p>①進路説明会やインターンシップ等を周知し、参加者の感想等アンケート結果も周知することで、生徒の積極的な参加を促す。</p> <p>②内容やワークシートを学年に応じて考えていくことで、生徒に必要な進路ガイダンスのカリキュラムを検討する。</p>	<p>①生徒の説明会やインターンシップ等の参加率を向上させることができたか。また、最終的に進路実現につなげることができたか。</p> <p>②キャリアパスポートの活用を促し、生徒にとって進路選択に役立つ進路ガイダンスを実施できたか。</p>
4	地域等との協働	<p>①地域産業や地域社会との連携、協働による教育活動を充実する。</p> <p>②地域や中学生に工業高校の魅力・特色を発信するため広報活動の充実を図る。</p>	<p>①地域産業、地域社会と連携した教育活動を継続する。工業推進Gや生徒支援Gと情報共有し、組織的な取組にする。</p> <p>②生徒の活動の様子が伝わるような魅力ある情報発信に取り組む。HP と SNS の活用を充実させ、中学生及びその保護者に効果的に情報を届ける。</p>	<p>①地域等と連携した教育活動の情報を集約し、活動を評価する。年度末に個々の活動を振り返り、課題や継続を検討する場を設ける。</p> <p>②校内での SNS の発信を周知する。部活動と行事の情報を更新し HP を充実する。また、学校説明会はオープンスクール形式に変更する。</p>	<p>①地域の行事を職員全体で共有することができたか。活動を通して教育効果を評価することができたか。</p> <p>②学校説明会のアンケートの結果、SNS や HP から本校に関心を持つようになったか。またオープンスクール形式で、生徒の活動の様子を知ることができたか。</p>
5	学校管理 学校運営	<p>①生徒が安心して学校生活を送れるよう学習環境の整備や、地域を含めた防災体制の整備に取り組む。</p> <p>②風通しのよい職場、業務の共有・協働、効率化をめざし、働き方改革の推進や事故不祥事の未然防止を図る。</p>	<p>①生徒一人一人が防犯・防災に対し、当事者意識をもち、自ら考え行動できる意識付けを考慮した訓練等の実施・見直しを行う。ICT 環境を整備し、生徒・職員が安心して利活用できる環境を整える。</p> <p>②日ごろからのコミュニケーションを大切にし、業務の効率化等に取り組む。事故・不祥事防止への啓発を行う。</p>	<p>①防犯・防災意識を高められる訓練等を検討・実施する。同時に校内防犯・防災設備の確認と、使用方法の理解・実技訓練等も検討する。ICT 環境においては引き続き利活用に適する環境の検討・整備をする。</p> <p>②積極的な声掛けや職員が主体的に取り組む研修や面談を実施し、事故・不祥事の未然防止を行う。</p>	<p>①アンケートにより当事者意識をもって訓練が出来たか等意識改善がみられたかを確認。防犯・防災設備等の実技訓練等ができたか。ICT 環境設備の改善ができたか。</p> <p>②主体的な研修ができたか。事故・不祥事を未然に防止することができたか。</p>